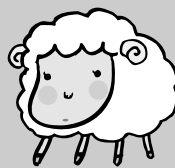


ニュージーランドへ行ってきました



～中学生海外派遣事業～

佐賀中・大方中学校の3年生を対象とした中学生海外派遣事業が、8月14日(月)から24日(木)に行われ、26名の中から選考を通過した11名の生徒(佐賀中1名、大方中10名)と引率者4名がニュージーランド(以下、NZ)に行ってきました。



平成8年から開始したこの事業は、平成10年まではオーストラリアに派遣していましたが、平成11年からは当時佐賀中学校のALTの出身地がNZであったことから、以後はNZのフェアフィールド中学校と交流をしています。途中平成21年にインフルエンザで中止になり、令和2年から4年までは新型コロナウイルス感染症により実施ができなかったため、久しぶりの再開となりました。

成田空港を午後6時30分出発、約10時間半のフライトなので、翌朝5時のところ、NZは日本より3時間(時差)進んでいるので、朝8時にNZオークランドに到着しました。

オーストラリアの東側に位置するNZは南半球なので、季節は冬。オークランドの緯度は南緯36度、日本の北緯36度は栃木や長野なので、とても寒い冬をイメージしましたが、黒潮町の3月ごろの気候でした。

さあいよいよ空港に到着すると、日本語は通用しない世界です。どきどきの入国審査も生徒たちは準備を重ねてきた英語で無事入国しました。専用バスでロトルアに移動、入国最初の昼食は、日本のサイズとは違う大きなハンバーガーに大量のフライドポテト。頑張って食べていましたが、ごめんなさいの生徒もいました。この日はその後、先住民マオリの文化や自然環境について学びました。

翌朝は森林散歩からはじまり、牧場体験などを経て、ハミルトン市フェアフィールド中学校でホストファミリーと対面です。ホストファミリーが順次到着し、英語で自己紹介を終えると、それぞれのホームステイ先に向かいました。生徒たちはこれから6泊し、ホームステイ先から学校に通います。翌日はもう木曜日。学校での式では「ハカ」で歓迎を受けました。ハカはラグビーNZ代表オールブラックスが試合前に儀式として行うことで有名です。今秋開催されたラグビーワールドカップでご覧になった方もいると思います。黒潮町の生徒は、「よさこい踊り」を披露して文化交流を行い、学校生活がはじまりました。学校で過ごす時間は、一人ひとりに「バディ」がついてくれて、有意義な交流体験ができるように、常に行動をとともにしてくれました。

学校生活も日本とは大きく違います。1時限が90分超で3時限、休み時間も長く、軽食を摂っています。また、日本のように机がすべて先生の方を向いているわけではなく、壁側を向いていたりさまざまです。自分の席が決まっているわけでもなく、1時限の授業のうちに科目が変わることもあります。生徒も自由にパソコンを使用したりしています。このように、授業や休み時間の過ごし方もかなり自由で思いおもいに過ごしていますが、団体行動を行うことになった場合は、静かにしゃべらずに整然と行動するところは、この学校のすごいところです。

ほかにも多くの国籍や文化を受け入れている点やホームステイ先であたたかく迎え入れてくれたことなど、生徒にとって毎日が大きな刺激で、学びが大きかったようです。

これらの学びは、生徒がどの場面においても常に積極的にコミュニケーションをとることに挑戦しつづけて過ごしたからこそ得たものです。

出発前と帰国後では生徒の表情は大きく変わりました。この研修を通じて英語の楽しさ、反面自分の英語力の足りなさを痛感したようです。また、文化の違いを受け入れることなど多くを肌で感じる事ができたようで、これからやりたいことを発見したり、挑戦して前に進みたいと感じたようです。

この経験を、帰国後の自身の生活をはじめ学校にも波及し、今後の成長に活かしてくれるものと期待しています。

教育次長 岡本 浩

佐賀中学校 3年 ^{むらこし} 村越 ^{とうま} 透馬

今回の研修でニュージーランドの文化やたくさんの人と触れ合い、たくさんのことを感じました。

1つ目は、みんなとてもフレンドリーということです。学校訪問のときによく話しかけてくれたり、手を振ってくれたり、ハイタッチをしてくれたりしました。ホームステイ中も楽しく話したり、スポーツを観戦したりしました。

2つ目は、みんな優しいということです。ホームステイ先では上手くコミュニケーションを取ることができるか不安でしたが、みんな優しくあまり緊張することもなく楽しい時間を過ごすことができました。ほかにも、スポーツを観戦したり、スーパーに連れて行ってもらったりしました。

この研修を通して、日本以外の他の国の文化や生活を体験することができ、自分にとっていい経験になりました。この経験を自信とし、今後の生活に活かせるようにしたいです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大方中学校 3年 ^{しのだ} 篠田 ^{なつは} 夏羽

8月14日から24日までニュージーランド派遣事業に行ってきました。

ニュージーランドに行く前はホストファミリーと上手くやっっていけるか・英語を上手く話せるかという不安を感じていましたが、いざニュージーランドに行ってみると周りの人たちが優しく接してくれたため、行く前の不安はすぐに無くなりました。ニュージーランドではさまざまな観光場所に行ったり学校訪問・ホームステイなど日本に居るとできない体験がたくさんできました。日本とニュージーランドは文化も時間の流れも違うため戸惑うことが多かったけど周りの人のおかげで楽しくニュージーランドでの生活を過ごすことができました。私はこの研修のおかげで英語を話すことに対する抵抗が少なくなったので自分を大きく成長させることができました。このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

大方中学校 3年 ^{にっ た} 新田 ^{ゆうせい} 悠晴

11日間にわたって、ニュージーランド研修に行きました。

私は、初めての海外で心が弾んでいた反面緊張をしていました。

ホストファミリーと会うときは、かなり緊張をしていましたが、いざホストファミリーに会ってみると優しく迎え入れてくれ、自然と緊張もほぐれていきました。

ホストファミリーと生活をする中で、自分が言いたいことをうまく言えなくても、相手が理解しようと努力してくれました。逆にうまく伝わった時はとてもうれしくて、ホストファミリーも私も笑顔になりました。ホストファミリーと日々を過ごしていくうちに家族の一員になっていったように思います。

お別れするときは本当に悲しくて、まだ、一緒にいろいろなことを話して、一緒に生活をしたかったです。ニュージーランドについてもっと知りたくて、日本に帰りたくないと思っていました。

この海外派遣事業を通して、私は、日本では関わることでできない自然や文化、人々と関わって自分の視野が大きく広がり、今までとは違う考え方を与えてくれました。また、私が見たのは世界のごく一部でもっとほかのところも知りたいという気持ちも与えてくれました。この海外派遣事業は私を大きく変えたものとなりました。貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

大方中学校 3年 ^{かねこ} 金子 ^{りえな} 莉衣菜

今回研修に行き、ニュージーランドの文化や現地の人たちの生活を間近で見つめ、触れて体験することができました。そうすることで異文化を理解することができました。学校訪問ではみんなが優しくフレンドリーでした。たくさん会話も自分自身の力でできてきたので英語面にも自信がついてきました。当たり前のように英会話がたくさん飛び交う環境で、自然に単語がでてくるようになり少しずつ身につけてきたと実感しました。それに自分から積極的に話しかけることの楽しさ・大切さを学ぶことができました。高知県という小さなところで暮らしている中では想像もできないことやものが溢れていて、とにかく刺激的な毎日でした。当たり前と思っていたことも当たり前じゃなかったというような文化や習慣のちがいをを感じるシチュエーションも多くその多様性を近くで感じて受け入れ多角的なものの見方ができるようになり視野がひろがりました。この経験をできていない人にも、発信してこの派遣事業の良さを後輩に伝えていきたいと思っています。この経験はこれからの自分の人生の中で大きなものになっていると思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

大方中学校 3年 ^{にしじま} 西嶋 ^{しどう} 志童

僕は8月14日から8月24日までニュージーランド研修に行きました。

僕はこの研修で初めて海外に行きました。行くまでにもたくさんの初めてのことがあり、不安が大きかったけど無事到着することができました。ホームステイやフェアフィールド中学校では常に英語を使わなければならないのが不安でしたが、みんなが優しく話しかけてくれたので緊張が和らぎ、楽しく毎日を過ごせました。

この研修で僕は、英語力が上がったと思います。普段学校で習った文法や単語を使って実際に英語圏で話すことができたので、今まで以上に英語が定着しました。スピーキングは苦手だったけど、克服できたと思います。また、日本とは違う文化や生活を味わうことができたことがとても良い経験になりました。僕はこれらの経験を将来に生かしていきたいです。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

大方中学校 3年 ^{ふじはら} 藤原 ^{だいご} 大悟

8月14日から24日までニュージーランドに行ってきた。

人生初めての海外で、この11日間は家族とも離れていて、ホストファミリーと自分1人の生活はどうなるのかと不安でしたがきちんと話し、コミュニケーションをとることができました。ニュージーランドの学校に3日間という短い間でも、とても明るいニュージーランドの人々とかかわることができ、言語は違うけれどここまで話せて、仲良くなることができるんだと思いました。

ホストファミリーと過ごした期間はいろいろな場所に行き、ニュージーランドの文化などを知ることができました。そのほかにも古くからの歴史や生活について知ることができ、たくさんの人とかかわれました。ただの英語の勉強ではなくそのほかにも相手のことや異国の文化を、10代で感じることは大事だと思いました。

この貴重な体験をこれからどんどん生かしていきたいです。

大方中学校 3年 松本 大和

この海外派遣事業に参加させていただき、僕たちは8月14日から11日間、貴重な体験をすることができました。その中で特に感じたことは、ニュージーランドに住む人たちのフレンドリーさです。3日間入学したニュージーランドの学校では、緊張した僕たちに「Hi」と言って声を掛けてくれたり、あいさつのあとにハイタッチやハグなどをしてくれて、不安もなくなり、楽しく過ごすことができました。また、僕を家族としてホームステイに受け入れてくれたホストファミリーは、英語があまり話せない僕の英語を理解しようと、親身になって聞いてくれました。

この海外派遣事業を通して、本当に貴重な体験ができました。素敵な人たちと出会うこともできました。このような機会をくださり、サポートしてくれた皆さん、本当にありがとうございました。

大方中学校 3年 溝渕 純音

10泊11日のニュージーランド研修を通して、たくさんの経験をしてきました。

その中でも、ニュージーランドの学校に通ったことが一番印象に残っています。学校ではハカを披露してくれたり、休み時間には一緒にお菓子を食べたり、日本の学校とは全然違う生活が送れてとても楽しかったです。生徒もフレンドリーな人ばかりでたくさんのコミュニケーションがとれました。スクールバディたちが3日間の学校生活を常に一緒に過ごしてくれたおかげで、学校生活がより一層楽しくなりました。

私はこの研修を通して、英語で会話をする力が身についたと思います。学校やホームステイでは英語を話すことがほとんどなので、自分の言いたいことを英語やジェスチャーを使って表現できるようになりました。一方で、現地の人の話す英語を聞き取ることが難しかったので、もっと勉強が必要だと学びました。この経験を将来に生かしていきたいと思います。

大方中学校 3年 松尾 椰七子

私はこの11日間、ニュージーランドに行ってきたたくさんのことを学びました。

最初は初めての海外にとってもワクワクしていました。しかし、その中では英語を理解できて話せるかななどの不安もたくさんありました。でも、行ってみると、人はとても優しく、フレンドリーでいろいろな人との出会いがありました。自分にとって毎日が新しい生活で、たくさん戸惑う事もあったけど、不安も和らぎ、毎日少しずつ成長していくことができました。ホストファミリーも優しく接してくれて、困ったことがあれば助けてくれました。

私はこの派遣事業で、英語力が伸びたかはわからないけど、違う国で生活することで毎日新しい発見があり、視野が広がり、考え方が変わったと思います。この経験は、これからの自分の人生に活かしていきたいです。このような素敵な体験をさせてくれた黒潮町と不安の中行かせてくれた親にとっても感謝します。

大方中学校 3年 村上 潤弥

8月14日～24日の間ニュージーランドに行きました。自分にとって初めての海外は、英語が通用するか、異なる生活スタイルに対応できるかなど、不安もありましたが、それを忘れるほど1日1日が楽しく、貴重な経験ができました。

ホストファミリーや、学校の生徒たちは自分たちを温かく受け入れ、一員として認めてくれ、すぐに仲良くなりました。ニュージーランドでは、たくさんの人と出会いましたが、異なる文化を認めてくれる人たちがばかりでした。これから、よりグローバル化していき、さまざまな国の人と関わる機会が多くなる中で、偏見を持たず誰でも温かく受け入れ、認めあえる人にならないといけなと感じました。

中学校から異国に行き、異なる文化に触れたり、日本語がほぼ通用しない環境に自分の身を置けたことは、いい経験になりました。僕の英語力はまだまだだと感じだし、将来自分の選択肢を広げるためにも、もっと英語を学ぼうと思うきっかけになりました。

大方中学校 3年 山本 悠生

私は今回の海外派遣事業で多くのことを学びました。

まず海外に行くための準備から始まり、ニュージーランドのマナーなどを事前学習で学び、ニュージーランドでは文化や国民性、自然などを見て、実際に触れて、日本では体験できないこともたくさん体験しました。

まずニュージーランドの人々はとてもフレンドリーで、ほとんどの人が初対面でも親しく接してくれるし、それは年が近いほど顕著に現れていました。

キリスト教やマオリの文化が根強くあり、ハカでは人が変わったようになり、驚きました。なかなか本物の英語に囲まれて生活することがないので自分の英語のレベルがどれほどのものかを思い知ったし、改めて英語を話せるようになるにはもっと勉強が必要だなと感じることができました。この貴重な体験を今後にしっかりと活かして、最後には自分でニュージーランドへいけるくらいまでになりたいと思います。関係者の皆様、本当にありがとうございました。



アグロドームにて



ロトルア観光中、集合写真



フェアフィールド中学校での授業の様子

